

12/2

目黒学院と相互友好協力協定を締結

村は東京都の学校法人目黒学院（以下目黒学院）と相互友好協力協定を締結し、目黒学院で調印式が行われました。

この協定は、目黒学院と村がそれぞれ環境の異なった都市と農村の子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、文化、教育、交流等の分野で協力していくためのものです。

具体的に取り組むとして、目黒学院は来年度から学校の学習計画に飯館村での農作業体験を組み込み、中学生が2泊3日、高校生が約1週間の農作業体験を行う予定です。



▲協定書を交わした目黒学院関口隆司理事長（右）と村長

今後は、農作業体験や交流事業の取り組みが村の子どもたちとの交流や目黒学院の中学生の父母などの受け入れへと進展することが期待されます。

村では昨年度から目黒区で行われている商工まつりに参加しており、今後も目黒区と相互に交流を深めていく考えです。



「最高の記念日」企画書！

「こころのぽけっと」「ずいぶん書き続けさせてもらっています。

新年号の「ぽけっと」ですからちょっとキザな提案を1つ。

私たち日本人は心では常に思っているのですが、言葉や態度に出す表現の仕方が実に下手な国民のようです。

人生にとって「お金」「仕事」「健康」「いずれも大切なものばかりですが、忘れがちなのが「家族あつての人生」だということです。今年是非、次のような企画ができないものかと、ひとり密かに思いをめぐらしているところです。

それは、ふたりだけで祝う「最高の記念日」を実現してもらい、文章に書いてもらうとか発表してもらおうというものです。

「冗談じゃない、そんな恥ずかしいこと出来るか」という声も多いでしょう。

う。100人の女性に聞いたこんなデータがあります。

「結婚記念日や誕生日など夫婦の記念日をお祝いしていますか？」の問いに毎年が43%、ほとんどやっていないが32%だそうです。実は私も32%の方にどうやら入りそうです。

「夫にもらってうれいプレゼントは？」の問いにバラの花束、旅行券、携帯メールで感謝状など。

「次の記念日に、夫に何をしてほしいですか？」の問いに「旅行に連れて行って」「レストランに」などが多いようですが、一方、「元気でいてくれればそれだけでいい」とか「私を自由にしてほしい」というのもあったそうです。

映画でも日帰り旅行でもいいでしょう。「今日の家事は僕がやるよ」の券でも「いつもありがとう」の言葉を添えての飛び上がるほどのプレゼントもありですかね。

是非そんなことをみんなで言い合う楽しい企画が出来ないものかと思っ

ています。どうか自分反省に立つての思いつきではあります。

平成22年12月13日

飯館村長 菅野 典雄

児童が平等について考える

11/29

村人権擁護委員が飯館小学校の5年生を対象に人権教室を行いました。

同委員による人権教室は、7月の飯館中学校での開催に続き2度目となります。

今回の教室のテーマは、「平等とは何かを考えてみよう」。

あらかじめ準備された平等に関する3つの設問について、児童がそれぞれに意見を出し合いながら班ごとに考えをまとめ発表しました。



▲人権教室の様子

大輪の菊咲きそろう

10/30

第4回比叡地区大菊三輪盆養品評会

第4回大菊三輪盆養品評会は比叡行政区集会所で行われ、多くの見学者が会場を訪れました。

品評会には約30鉢が出品され、鮮やかに咲いた菊の花と菊の香りが会場いっぱいになり、来場者は心がいやされるひと時を過ごされたようでした。

品評会入選者の表彰は二本松の菊人形展を見学しながら、岳温泉で行われました。

入賞者は「二本松の菊人形展へ出展を目標に頑張りたい」と意気込みを語っていました。



▲品評会の様子

誕生おめでとう

赤ちゃんの名まえ 親の氏名 行政区

巻野 井愛ちゃん 修一・敦子 伊丹 沢
すくすくと元気に育ってね



おくやみ

氏名	年齢	行政区
新妻 守	83	蕨 平
千葉 博敏	72	草 野
菅野 春吉	84	長 泥
高橋 敏雄	70	草 野
佐藤 忠正	79	大 倉
青木 松治	72	大久保・外内
佐野 サタ子	79	前田・八和木
三瓶 篤夫	60	大久保・外内
目黒 末児	76	大久保・外内

ご冥福をお祈り申し上げます



(11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごきの休載について

現在の人口は、平成17年国勢調査の結果を基に、県が毎月公表しています。今年10月に国勢調査が行われ、今後はその集計結果を基に人口を掲載しますのでしばらくお待ちください。